



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**200**期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役会長兼社長

中野光雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第200期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦を巡る動向、中国経済の先行きなど、海外経済の不確実性が高まりました。さらには、新型コロナウイルス感染症拡大による世界的な景気減速懸念により、先行き不透明感が一層高まりました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは中期経営計画『加速17-20』で、計画期間の後半2年間で「成長の加速」ステージと位置づけ、当期においては、これまで進めてまいりました研磨材事業・化学工業品事業での研究開発力、生産能力の強化を各事業の拡大に発現させております。また、繊維事業では、事業環境の変化に対応するため、更なる構造改革を進めております。

当期の業績は、連結売上高は前年同期比1,603百万円（4.3%）増収の38,701百万円、営業利益は前年同期比299百万円（7.9%）増益の4,079百万円、経常利益は前年同期比346百万円（8.7%）増益の4,329百万円となりました。これから減損損失、構造改革費用などの特別損益と法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比269百万円（10.6%）減益の2,269百万円となりました。

当期の期末配当につきましては、経営環境および業績等を勘案し、1株当たり50円とさせていただきたいと存じます。これにより、中間配当50円を加えた当期の年間配当は、1株につき100円となります。

当社は、2017年度から2020年度までを計画期間とする中期経営計画『加速17-20』を実行しております。計画期間の前半2年を更なる拡大のための基盤創りを加速する「変革の加速」ステージ、後半2年は企業価値拡大を加速する「成長の加速」ス

ページと位置づけ、利益重視に立脚した重点3事業の加速を基本方針とし、①収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大 ②繊維事業の構造改革による収益力向上と反転攻勢 ③成長加速に向けてのホールディングス機能の強化の3つの基本戦略を、スピード感を持って実行し、当社グループの企業価値拡大を「加速」させてまいります。

後半2年間の「成長の加速」ステージにおいては、主力事業として成長を続ける研磨材事業では、拡大の基盤創りのため、導入・建設を進めてまいりました研究開発設備と台湾新工場を活用し、半導体製造の最先端プロセス・次世代プロセスに対応した超精密加工用研磨材の開発・拡販に取り組むとともに、BCPと今後の受注拡大に対応するため大分新工場の建設を進めております。化学工業品事業では、更なる事業規模拡大のため、既存生産設備のフル稼働体制を構築するとともに、新規設備投資に着手しております。繊維事業では、インターネット販売など新規販売チャネルの開拓・拡大とともに、低採算商材からの撤退と生産体制の改革を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大による経営環境の変化が大きく、今一度、抜本的な対策に取り組んでまいります。その他の事業では、医療機器用途など新規商材拡大と金型事業の強化で、化成品事業を重点3事業に続く第4の柱事業として育成すべく基盤整備を進めております。

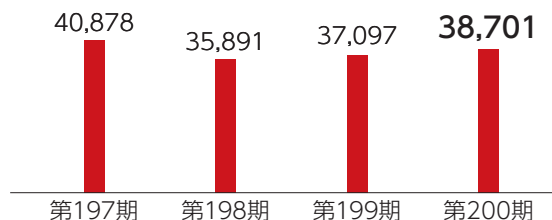
『加速17-20』最終年度にあたり、新型コロナウイルスが当社経営に与える影響は極めて不透明であり、厳しい事業環境が想定されますが、当社グループの総力をもって課題に対処しながら、3つの基本戦略に基づき企業価値の拡大に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

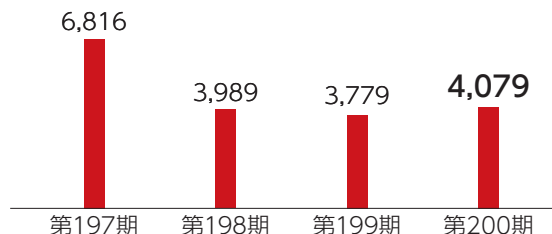
売上高

(単位：百万円)



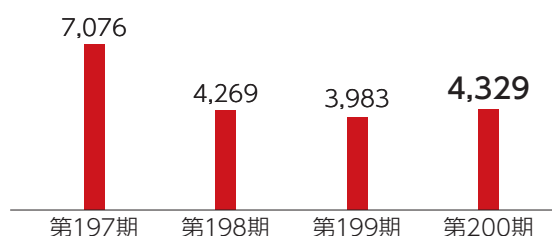
営業利益

(単位：百万円)



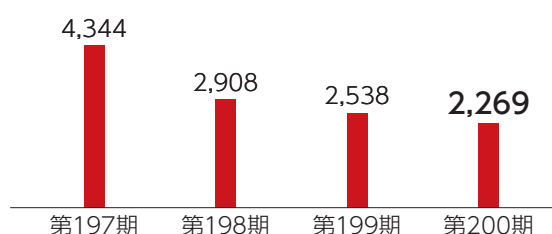
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

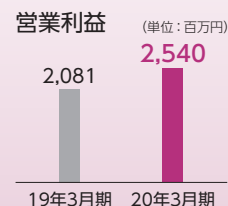
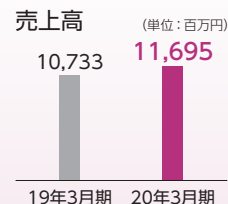


研磨材事業

売上高構成比
30.2%

主力の超精密加工用研磨材は、半導体デバイス用途(CMP)等は米中貿易摩擦、日韓貿易問題など不透明な経済環境の中、その影響も懸念されましたが、各種センサー用、5G通信用の半導体向けが拡大しました。ハードディスク用途も底堅いデータセンター用サーバー需要により堅調に推移しました。期末時点で一部中国ユーザーの操業停止に伴う納入延期があったものの、各主要ユーザーでBCP対応のための部材積み増しがあり、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響は受けませんでした。

この結果、売上高は前年同期比961百万円(9.0%)増収の11,695百万円、営業利益は459百万円(22.1%)増益の2,540百万円となりました。

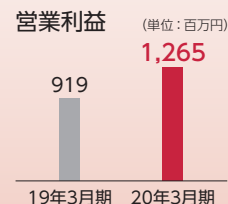
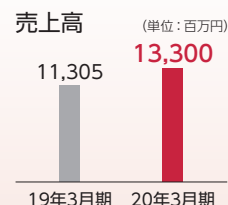


化学工業品事業

売上高構成比
34.4%

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、中国の環境規制の影響や高い品質を要求される化学工業品において、生産の日本国内回帰の傾向が続いており、農薬用、機能性材料を中心に全ての分野で堅調に推移し、期末時点で新型コロナウイルスの影響により中国からの一部原料入荷遅延があったものの、期を通して柳井工場・武生工場ともにフル稼働となり、売上高・営業利益が過去最高となりました。

この結果、売上高は前年同期比1,994百万円(17.6%)増収の13,300百万円、営業利益は346百万円(37.7%)増益の1,265百万円となりました。

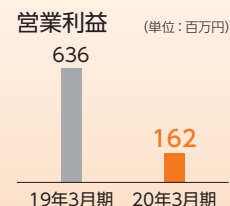
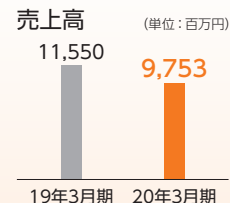
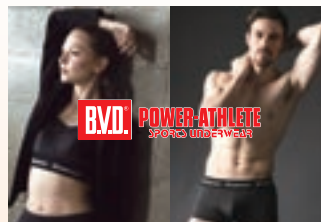


繊維事業

売上高構成比
25.2%

アンダーウェアを中心とする繊維製品は、インターネットなど新規チャネルでの販売は拡大を続けておりますが、地方百貨店の減少、大手量販店における衣料品売場の縮小、プライベートブランドへの転換の影響を受け、メンズインナー定番品の販売の減少が続きました。そのため、日本国内および中国の縫製工場の縮小・撤退を進め、タイへの生産シフトを進めました。繊維素材では、原材料価格高止まりに対応するための販売価格への転嫁と、採算性の低い商材からの撤退を進めました。しかし、期の終盤にかけて新型コロナウイルスの影響により繊維全般にわたり、急激に需要が減退しました。

この結果、売上高は前年同期比1,796百万円(15.6%)減収の9,753百万円、営業利益は473百万円(74.4%)減益の162百万円となりました。



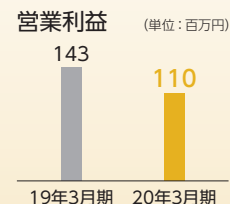
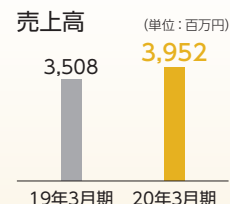
その他の事業

売上高構成比
10.2%

化成品事業は、デジタルカメラ用部品は減少しましたが、医療機器用部品が堅調に推移し、大分工場新ラインの稼働を開始しました。また、2018年10月1日付で連結対象となったプラスチック射出成形用金型子会社の業績が貢献し、前年同期比増収・増益となりました。貿易事業は、中米カリブ海

地域向け自動車・農業用機械などの三国間貿易が回復傾向となってきましたが、期末時点で同地域各国の主要都市ロックダウンが行われたため、一部債権に対し引当を行いました。

この結果、売上高は前年同期比443百万円(12.6%)増収の3,952百万円、営業利益は32百万円(22.8%)減益の110百万円となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 2020年3月31日 現 在	前 期 2019年3月31日 現 在
資産の部	52,194	52,270
流動資産	18,888	19,858
現金及び預金	4,994	4,895
受取手形及び売掛金	8,368	9,369
商品及び製品	1,692	2,191
仕掛品	2,474	1,924
原材料及び貯蔵品	1,172	1,118
その他	331	376
貸倒引当金	△146	△17
固定資産	33,305	32,411
有形固定資産	30,331	29,126
建物及び構築物	6,863	6,903
機械装置及び運搬具	5,134	5,721
土地	13,891	13,912
リース資産	40	55
建設仮勘定	3,614	1,594
その他	787	939
無形固定資産	744	828
投資その他の資産	2,229	2,456
投資有価証券	1,771	2,024
繰延税金資産	136	136
その他	363	294
貸倒引当金	△42	△0
資産合計	52,194	52,270

科 目	当 期 2020年3月31日 現 在	前 期 2019年3月31日 現 在
負債の部	18,351	19,492
流動負債	11,411	12,168
支払手形及び買掛金	3,841	3,576
電子記録債務	873	1,040
短期借入金	1,189	1,879
リース債務	42	90
未払法人税等	759	581
賞与引当金	602	648
返品調整引当金	37	44
その他	4,065	4,307
固定負債	6,940	7,323
長期借入金	298	426
リース債務	60	80
繰延税金負債	712	812
再評価に係る繰延税金負債	732	732
退職給付に係る負債	4,730	4,860
資産除去債務	311	307
その他	94	104
純資産の部	33,842	32,778
株主資本	31,874	30,729
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,176	2,174
利益剰余金	23,580	22,455
自己株式	△555	△573
その他の包括利益累計額	1,967	2,048
その他有価証券評価差額金	390	550
繰延ヘッジ損益	△17	△6
土地再評価差額金	1,270	1,270
為替換算調整勘定	313	238
退職給付に係る調整累計額	9	△3
非支配株主持分	0	0
負債純資産合計	52,194	52,270

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期 2019年 4 月 1 日～ 2020年 3 月31日	前 期 2018年 4 月 1 日～ 2019年 3 月31日
売上高	38,701	37,097
売上原価	25,962	24,685
売上総利益	12,738	12,412
販売費及び一般管理費	8,659	8,632
営業利益	4,079	3,779
営業外収益	398	350
受取利息	2	5
受取配当金	52	47
固定資産賃貸料	266	254
その他	77	41
営業外費用	147	146
支払利息	15	14
固定資産賃貸費用	63	67
コミットメントフィー	32	33
その他	36	31
経常利益	4,329	3,983
特別利益	2	0
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	0	0
特別損失	781	124
固定資産処分損	176	96
減損損失	355	25
構造改革費用	206	—
その他	43	1
税金等調整前当期純利益	3,551	3,859
法人税、住民税及び事業税	1,321	1,156
法人税等調整額	△39	164
当期純利益	2,269	2,538
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,269	2,538

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期 2019年 4 月 1 日～ 2020年 3 月31日	前 期 2018年 4 月 1 日～ 2019年 3 月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,548	4,808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,289	△3,339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,174	△1,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△30
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	100	136
現金及び現金同等物の期首残高	4,830	4,694
現金及び現金同等物の期末残高	4,930	4,830

Topics

Topics

1

研磨材事業

IoT・AI、5Gで加速する 研磨材事業

5G（新世代通信規格）をはじめ、IoT（モノのインターネット）・AI（人工知能）、ビッグデータなどの活用による第4次産業革命に注目が集まっています。これら先端技術を支えるのが高性能の半導体デバイスであり、その基盤となるシリコンウ



エハー、さらには膨大なデータを保存するハードディスクや高精細な画像を再現する液晶ガラスです。

こうした最先端の精密機器・部材の加工に、フジボウ愛媛(株)が供給する超精密加工用研磨材POLYPASは欠かせないものとなっています。

フジボウ愛媛(株)では、壬生川本社工場（愛媛県）、小山工場（静岡県）、小坂井工場（愛知県）の3拠点に加え、台湾でも2018年から生産を始めています。また、2020年秋の稼働を目指し、大分県でも新工場の建設が進んでいます。

研磨材事業は、第4次産業革命の発展とともに、更なる事業拡大を目指します。



Topics

2

化学工業品事業

拡大する化学工業品事業

中国における環境規制強化の動きもあり、化学メーカーの国内回帰が加速しています。機能化学品およ



び医薬中間体などの受託製造を担う柳井化学工業(株)では、こうした動きを追い風に柳井本社工場（山口県）と武生工場

（福井県）でフル稼働が続き、この1年は過去最高の業績となりました。

化学工業品は、用途の広がりもあり、今後も根強い需要の増加が期待されています。武生工場では2020年12月の完成を目指して生産系列の増強を進めているほか、柳井本社工場でも今後の更なる生産能力の向上を図るべく、生産能力に応じた電気の供給や廃液処理を可能にするため、ユーティリティ設備の増強を行っています。

化学工業品事業では、これらの設備増強により、引き続き需要の伸びに万全の体制で臨みます。



しなやかに変化に対応

繊維事業では、様々なアプローチで変化に対応した製品を提供しています。

身近なインナー製品では、ウェア内をドライに保つ吸水速乾性に優れた超極細繊維と、ニオイを抑制する抗菌防臭加工により、厳しさを増す夏も快適な着



心地を提案する「B.V.D. EVER DRY」の本格展開を今春から始めました。また、Eコマース需要の高まりに応じて、幅広い品揃えと限定商品でお客様の利便性向上を図るインターネット販売・通信販売も好調です。



染色加工の分野では、特色ある風合い、深みのある色合いを深化させるとともに、エコロジーで環境負荷が低い新型染色機へ更新を進め、SDGs等の観点からも海外顧客の評価を得ています。

産業資材用途では、ステンレス繊維は最新の設備を導入し、蓄積されたノウハウを活かして、ユーザーの高い品質要求にえています。

この他、独特な風合いを持つリサイクル綿の糸など、サステナビリティにも配慮した特色ある製品、加工に注力してまいります。

顧客ニーズに応え 事業拡大

プラスチック用射出成形金型の設計・製造・販売を行う㈱東京金型は、事業に一段と厚みが生まれています。2019年度も自動車用内外装部品などの金型受注は堅調に推移し、売上・営業利益共に増収増益となりま



した。

今般、不足している生産能力の向上を図るため、2020年1月にユーザーが集積する群馬県に新たな生産拠点を設けました。



単なる生産能力向上に留まらず、将来的にはより大きな金型への展開も視野に入れた生産体制再構築の第一歩であり、順次設備更新を計画しています。

大型金型は付加価値が増す一方、高い参入障壁がありますが、今後もグループのシナジー効果を活かして、事業の更なる拡大に注力してまいります。

Topics

3

繊維事業

Topics

4

化成事業

会社概要 (2020年3月31日現在)

商 号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大 阪 支 社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設 立	1896年3月24日
資 本 金	66億7383万2000円
従 業 員 数	単体97名 連結1,251名
主 要 な 事 業 内 容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

連結対象会社 (2020年3月31日現在)

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛(株)
台湾富士紡精密材料股份有限公司
フジケミ(株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業(株)

■ その他の事業

フジボウ愛媛(株)
フジボウテキスタイル(株)
フジケミ(株)
(株)東京金型
(株)藤岡モールド

(注) 2020年4月1日付で(株)東京金型は、(株)藤岡モールドを吸収合併しております。

■ 繊維事業

フジボウ愛媛(株)
(株)フジボウアパレル
(株)フジボウソーイング
富士紡(常州)服装有限公司
ジンタナフジボウコーポレーション
フジボウテキスタイル(株)
タイフジボウテキスタイル(株)
アングル(株)
富士紡(上海)商貿有限公司

役員 (2020年6月26日現在)

代表取締役会長兼社長 社長執行役員	中 野 光 雄
代 表 取 締 役 副社長執行役員	青 木 隆 夫
代 表 取 締 役 専務執行役員	吉 田 和 司
取 締 役 上 席 執 行 役 員	豊 岡 保 雄
取 締 役 上 席 執 行 役 員	井 上 雅 偉
取 締 役	秀 島 信 也
取 締 役	ルース・マリー・ジャーマン
取 締 役	小 林 久 志
常 勤 監 査 役	松 尾 弘 秋
常 勤 監 査 役	大 西 秀 昭
監 査 役	生田目 克
監 査 役	大 塚 幸 太 郎

(注) 1. 取締役の秀島信也、ルース・マリー・ジャーマン、小林久志の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役の大西秀昭、生田目克、大塚幸太郎の3氏は社外監査役であります。

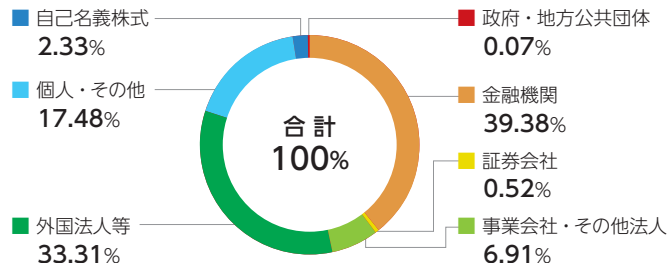
執行役員 (2020年6月26日現在)

常務執行役員	木 原 勝 志
常務執行役員	藤 岡 敏 文
執 行 役 員	鈴 木 眞
執 行 役 員	野 口 篤 謙
執 行 役 員	岡 田 祐 明
執 行 役 員	中 村 隆 夫
執 行 役 員	平 野 治
執 行 役 員	安 藤 興 司
執 行 役 員	望 月 吉 見

株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	5,924名

所有者別分布状況

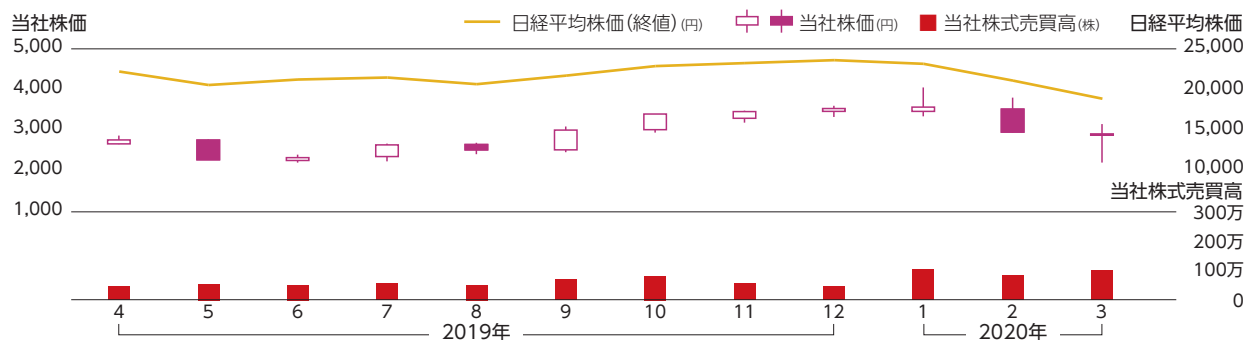


大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,017,900	8.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	704,100	6.15
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.66
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	523,100	4.57
株式会社三菱UFJ銀行	500,000	4.37
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	373,878	3.27
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	308,600	2.70
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	293,774	2.57
フジボウ共栄会	276,800	2.42

(注) 持株比率は、自己株式 (272,955株) を控除して計算しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.fujibo.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<https://www.fujibo.co.jp/>

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
電話 03-3665-7777(代)

